

学習の指針（シラバス）

教科名	国語	実施学年	1年	週時間	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、論理的な構成や展開を考えて話せる。 ・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書ける。 ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てる。 ・古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像することができる。 ・学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使える。 ・相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して今までに考えつかなかった考えに触れるなど、自分の考えを広げる。 ・自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫する。
使用教科書 副教材等	教科書:伝え合う言葉1(教育出版) 副教材:よくわかる国語の学習(ワーク)明治図書 スパッと攻略国語文法(光村図書) 単元別漢字(秀学社)

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
1学期	4	「ふしぎ」(詩) 「桜蝶」(物語)		詩の創作 プリント
	5	「言葉の単位」(言語) 「お気に入りの一品を紹介する」(表現)	図書室の利用について (オリエンテーション)	文法テスト 作文 単元テスト
	6	「自分の脳を知っていますか」(説明) 「漢字の部首」「日本語の音声」(言語) 「内容を整理して説明を書く」(書く) 「すべては編集されている」	意見発表会	期末テスト 意見文 漢字テスト
	7	「写真で『事実』を表現する」(メディア) 「ベンチ」(読書) 「材料を整理して案内文を書く」(書く) ・読書案内・原稿用紙の使い方と推敲	読書会 夏休みの課題	ノート
2学期	9	「持続可能な未来を創るために」(総合) 「森には魔法使いがいる」(説明) 「文の成分」(言語) 「根拠を明確にして意見文を書く」	夏休み明け漢字50問テスト 意見発表会	意見文 プリント 文法テスト 単元テスト 暗誦テスト
	10	「箱に入った桃太郎」(古文) 「竹取物語」(古文) 「故事成語」(漢文) 「蜘蛛の糸」(読書)	故事成語発表会 読書会	発表会の様子 音読テスト 期末テスト 漢字テスト
	11	「河童と蛙」(詩) 「オツベルと象」(小説)		発表会の様子 ノート
	12	「子どもの権利」(説明) 「調べた内容を書く」(話す・聞く)	調べ学習	

3学期	1	「行書と筆づかい」(習字) 「漢字の音と訓」(漢字) 「言葉がつなぐ世界遺産」(報告)	書き初め 読書会 意見発表会	習字作品 漢字テスト プリント 単元テスト 文法テスト 学年末テスト レポート 学習のまとめ・ノート
	2	「読み手を意識して報告文を書く」(表現) 「単語のいろいろ」(言語) 「漫画で物語を表現する」(メディア) 「熟語の構成」(漢字)		
	3	「少年の日の思い出」(小説) 「方言と共通語」(言語) 「四季の詩」(詩)		

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	漢字の読み書きや熟語の構成、古文単語、漢文の返り点など、問題に正しく解答できるように学んだ知識を活用している。それぞれの問題に対してどの知識を活用すればよいのか見極める。	☆単元テスト・定期テスト ☆漢字テスト・文法テスト ☆授業内での課題 ・ノート、プリント、ワークなど ☆授業中の発言、参加状況
思考・判断・表現	相手や目的、意図に応じ、話したり、聞いたり話し合うことで、自分の考えを明確にしている。 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして表現している。 定期テストにおける聞き取りテストや、授業中の発言、グループワークへの参加の様子などで判断する。	☆単元テスト ☆授業内での課題 ・ノート、プリント、ワークなど ☆創作 ・詩・俳句・作文・レポートなど ☆定期テスト (聞き取りテスト・条件作文) ☆スピーチ・音読・暗誦 ☆授業中の発言、参加状況
主体的に学習に向かう態度	様々な形態の文章や言語事項等に対し、自分なりの解釈を持ち、他者の考えに対して意見を持ち、自らの考えを更に広げたり、深めている。	☆家庭学習の取り組み ☆ノートづくり・自主学習 ☆授業中の発言、参加状況 ☆授業での取り組み ☆話し合い活動での取り組み

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

※ノートなどの提出物に関する評価については、別紙で詳細を説明します。

学習の指針（シラバス）

教科名	数学	実施学年	1年	週時間	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1、学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数と負の数，文字を用いた式と一元一次方程式，平面図形と空間図形，比例と反比例，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数理的に捉えたり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 ・数の範囲を拡張し，数の性質を見だし，計算することができる。文字を用いて数量の関係や法則などを考察したり，図形の構成要素や構成の仕方に着目して図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察したりすることができる。数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし，その特徴を表，式，グラフなどで考察したり表現することができる。データの分布に着目しその傾向を読み取り批判的に考察して判断し，不確定な事象の起こりやすさについて考察することができる。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度，多面的に捉え考えようとする態度を養う。
使用教科書 副教材	教科書：新しい数学1（東京書籍） 副教材：数学の学習ノート1年（正進社）

2、学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
一学期	4	0章 算数から数学へ		<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・単元、期末テスト
	5	1章 正負の数 1節 正負の数 2節 加法と減法 3節 乗法と除法	単元テスト(5月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークへの取り組み ・計算カードへの取り組み ・授業での発表内容や取り組み状況
	6	4節 正負の数の利用	期末テスト(6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題やレポートへの取り組み
	7	2章 文字と式 1節 文字式の計算 2節 文字式の利用		
	二学期	9	3章 方程式 1節 方程式とその解き方 2節 1次方程式の利用	単元テスト(9月)
10		4章 比例と反比例 1節 関数の比例・反比例 2節 比例の性質と調べ方 3節 反比例の性質と調べ方	単元テスト(10月)	<ul style="list-style-type: none"> ・計算カードへの取り組み ・授業での発表内容や取り組み状況 ・課題やレポートへの取り組み
11		4節 比例と反比例の利用	期末テスト(11月)	
12		5章 平面図形 1節 図形の移動 2節 基本の作図 3節 おうぎ形		

三学期	1	6章 立体図形 1節 いろいろな立体 2節 立体の見方と調べ方 3節 立体の体積と表面積	単元テスト（1月）	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・単元、期末テスト ・ワークへの取り組み ・計算カードへの取り組み ・授業での発表内容や取り組み状況 ・課題やレポートへの取り組み
	2	7章 データの分析と活用 1節 データの整理と分析 2節 データの活用	学年末テスト （2月）	
	3	3節 ことからの起こりやすさ		

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3、評価について

（1）評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識 技能	・基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを確実に理解し、基本的な知識を身につけている。	小テスト 単元、期末テスト 授業での発表内容☆
思考 判断 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的にとらえ、論理的に考えられる。 ・既習事項を元に、発展的に考えたりすることができる。 ・数学的事象を論理的に説明したりできる。 ・テストで、上記の問題を解くことができる。 	小テスト 単元、期末テスト 授業での発表内容☆
主体的に 学習に 向かう態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に興味を持ち、自ら課題を見出し、取り組むことができる。 ・授業での発表及び学び合い活動の取り組みが積極的にできる。 ・ノートの整理や提出物が提出できる。 	課題の提出(宿題・ワーク・計算プリントなど) 期末テストへの取り組み 授業での発言回数や内容☆ 教え合い学習への取り組み状況☆

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

※ノートなどの提出物に関する評価については、別紙で詳細を説明します。

（2）観点別評価からの評定の算出の仕方

A = 3点、B = 2点、C = 1点として3つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

9点⇒「5」 8点⇒「4」 5～7点⇒「3」 4点⇒「2」 3点⇒「1」

学習の指針（シラバス）

教科名	外国語	実施学年	1年	週時間	4時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1、学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 ・関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 ・関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 ・関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
使用教科書 副教材等	教科書：NEW HORIZON English Course 1（東京書籍） 副教材：Smile English（浜島書店）

2、学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
一学期	4	Unit 0 Welcome to Junior High School	Performance test については、後日説明します。	授業態度 ノート プリント 単語テスト Performance test 単元テスト 期末テスト
		Unit1 New School, New Friends		
	5	Unit2 Our New Teacher		
	6	Unit3 Club Activities		
	6	Unit4 Friends in New Zealand		
	7	Unit5 A Japanese Summer Festival		
		Stage Activity 1 “All about Me” Poster		
二学期	9	Unit6 A Speech about My Brother	Performance test については、後日説明します。	授業態度 ノート プリント 単語テスト Performance test 単元テスト 期末テスト
		Unit7 Foreign Artists in Japan		
	10	Unit8 A Surprise Party		
	11	Unit9 Think Globally, Act Locally		
	12	Stage Activity 2		
三学期	1	Unit10 Winter Vacation	Performance test については、後日説明します。 冬休み明け、不規則動詞のテストを行います。	授業態度 ノート プリント 単語テスト Performance test 単元テスト 学年末テスト
	2	Unit11 This Year's Memories		
	3	Stage Activity 3 Introduce your best country		

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項、動詞の現在形や過去形、疑問詞などを用いた文の意味・形・用法を理解することができる。</p> <p>[技能] 英語の特徴やきまりに関する事項、動詞の現在形や過去形、疑問詞などを用いた文の理解をもとに、日常的な話題や関心のある事柄について、必要な情報を読み取る技能や、即興で伝える技能を身につけている。</p>	☆単元テスト ☆Performance test ☆アクティビティへの取り組み ☆授業中の発言、参加状況 ・定期テスト ・プリント ・ワーク
思考・判断・表現	<p>自分が必要とする情報を得るために、日常的な話題や物語、体験談、海外の生活などについて書かれた文章を読んで、必要な情報を読み取ることができる。また、相手からの質問に対してその場で適切に応答したり、関連する質問をしたり、簡単な語句や文を用いて話すことができる。</p>	☆単元テスト ☆Performance test ☆アクティビティへの取り組み ☆授業中の発言、参加状況 ・定期テスト ・プリント ・ワーク
主体的に学習に向かう態度	<p>関心のある事柄や体験したこと、海外の生活について、聞き手、読み手、話し手、書き手などそれぞれに配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしたり、書こうとしたり、読み取ろうとしたりしている。</p>	☆Performance test ☆授業中の発言、参加状況 ☆授業への取り組み

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

※ワークなどの提出物に関する評価については、後日、詳細を説明します。

学習の指針（シラバス）

教科名	理科	実施学年	1年	週時間	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	<p>(1) 身のまわりの物質についての観察・実験を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解するとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身につける。</p> <p>(2) 身近な事物・現象についての観察・実験を通して、光や音の規則性、力の性質について理解するとともに、これらの事物・現象を日常生活や社会と関連づけて科学的に見る見方や考え方を養う。</p> <p>(3) 身近な植物などについての観察・実験を通して、生物の調べ方の基礎を身につけるとともに、植物の体のつくりとはたらきを理解し、植物の生活と種類についての認識を深める。</p> <p>大地の活動のようすや身近な岩石、地層、地形などの観察を通して、地表に見られるさまざまな事物・現象を大地の変化と関連づけて理解し、大地の変化についての認識を深める。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：理科の世界1（大日本図書）</p> <p>副教材：理科の自主学習1（新学社）</p>

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
1 学期	4	<p><单元1>植物の生活と種類</p> <p>1章 植物の体のつくりとはたらき</p> <p>2章 植物のなかま分け</p>	ワークの提出は自主的に行う	<p>*ノート、プリント、ワーク</p> <p>*実験レポート</p> <p>*单元テスト類</p> <p>*定期テスト</p> <p>*実力テスト</p>
5	<p>3章 動物のなかま</p> <p><单元2>物質のすがた</p>			
6	<p>1章 いろいろな物質</p>			
2 学期	9	<p><单元2>物質のすがた</p> <p>1章 いろいろな物質</p> <p>2章 気体の発生と性質</p>	<p>夏休み明けに1・2年の教科書写しの確認</p> <p>ワークの提出は自主的に行う</p>	<p>*ノート、プリント、ワーク</p> <p>*実験レポート</p> <p>*单元テスト類</p> <p>*定期テスト</p> <p>*実力テスト</p>
10	<p>3章 物質の状態変化</p> <p>4章 水溶液</p>			
11	<p><单元3></p> <p>身近な物理現象</p>			
12	<p>1章 光の性質</p> <p>2章 音の性質</p> <p>3章 力</p>			

3 学 期	1	< 単元4 > 大地の変化 > 1章 火山	冬休み明けに基礎単語確認 テスト	*ノート、プリント、 ワーク *実験レポート *単元テスト類 *学年末テスト *実力テスト
	2	2章 地震		
	3	3章 地層		
	4	4章 大地の変動		

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料 各項目100点満点
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理法則を理解し、問題に正しく解答できるように学んだ知識を活用する。 ・それぞれの問題に対してどの知識を活用すればよいかを、授業の様子やテストの結果から総合的に判断する。 ・観察・実験の基本的な技能が身についているか、細かく観察しているか、結果を表やグラフに的確に処理しているか、テストの知識・技能問題の結果から、総合的に判断します。 	<ul style="list-style-type: none"> *ノート、プリント ☆実験レポート *定期テスト(知識を問う問題) *実力テスト ☆授業中の発言・参加状況 ☆単元テスト
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象の中に問題を見出し、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現しようとしている。 ・観察・実験からわかることを深く考察しているか、科学的な考え方が身についているか、考察を丁寧にまとめ、仲間の前で発表しているか、また、テストの思考問題の結果から、総合的に判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> *ノート、プリント ☆実験レポート *定期テスト(思考力を問う問題) *実力テスト ☆授業中の発言・参加状況 ☆単元テスト
主体的に学習する態度	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身につけていること。 ・授業への取り組み方(挙手発表、姿勢など)、提出物(観察・実験のレポート、ノート、ワークなど)、学習内容を日常生活に関連付けているか、テストの結果から、総合的に判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆実験・観察への取り組み ☆思考に関する記述 ☆授業への取り組み *課題に関する提出物(ワークとレポート)

☆印の項目は、授業を欠席した場合には、評価に含めることができない場合があります。

学習の指針（シラバス）

教科名	社会	実施学年	1年	週時間	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	<p>(1) 世界の概要について学習を進めることで、地理の学習の基本的な知識や地球儀や世界地図を活用することができる。</p> <p>(2) 世界の諸地域を地誌学的に学ぶことで、各地域の文化が自然環境と密接に関わり合っていることを理解し、現在の各地域の特色がどのように形成されているかを諸資料から考察することができる。</p> <p>(3) 日本という国家が形成されるまでの流れを理解し、その後、貴族や武士が権力を握っていった理由を諸資料から考察することができる。</p> <p>(4) 室町時代までの民衆や文化の歴史を理解し、現代にどのようにつながっているかを考察することができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：新しい社会 地理（東京書籍）、新しい社会 歴史（東京書籍） 地図帳（帝国書院）</p> <p>副教材：よくわかる社会の学習 地理1（明治図書） よくわかる社会の学習 歴史1（明治図書） グラフィックワイド歴史（とうほう）</p>

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	評価
1 学期	4	地理学習のはじめに 世界の姿	ノート 授業中の発言 単元テスト 期末テスト
	5	日本の姿 世界各地の人々の生活と環境	
	6	歴史学習のはじめに 歴史の流れをとらえよう	
	7	世界の古代文明と文明のおこり	
2 学期	9	日本列島の誕生と大陸との交流	ノート 授業中の発言、発表内容 単元テスト 期末テスト
	10	古代国家の歩みと東アジア世界	
	11	世界の諸地域 ①アジア州 （急速な都市の成長と変化） ②ヨーロッパ州 （国どうしの統合による変化）	
	12	③アフリカ州 （国際的な支援からの自立に向けて） ④北アメリカ州 （多くの人々をひきつける地域）	

3 学 期	1	⑤南アメリカ州 (開発の進展と環境問題)	ノート 授業中の発言、発表内容 単元テスト 学年末テスト
	2	⑥オセアニア州 (強まるアジアとの結び付き)	
	3	武士の台頭と鎌倉幕府 東アジア世界との関わりと社会の変動	

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
主体的に学習に 取り組む態度	社会的事象について主体的に調べ分かつようとして学習上の課題を意欲的に解決しようとする態度や、よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に考察、構想(選択・判断)したことを社会性生活に活かそうとする態度。ノートやプリントに書いてあることや宿題・課題の取り組み(提出物と単元テスト)。授業中の発言の量も参考にする。	・単元テスト ・ノート ・ワーク ・授業中の発言、発表内容
社会的な思考・判断・表現	社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現する。ノートやプリントに書いてあることや定期テストにおける論述問題で判断する。	・ノート ・定期テスト
社会的事象についての知識・技能	地理的事象や歴史的事象の知識を身につけている。	・定期テスト ・単元テスト

学習の指針（シラバス）

教科名	音楽	実施学年	1年	週時間	1・5時間
-----	----	------	----	-----	-------

1 学習の目標

学習の目標	<p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにする。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：教育芸術社 「中学生の音楽1」「中学生の器楽」</p> <p>副教材：音楽ファイル、歌声ファイル</p>

2 学習計画及び評価

学期	月	学習内容	評価
1 学期	4	新しい仲間と明るい歌声を響かせる	学習カード
	5	「校歌」「学年合唱」	実技テスト
	6	詩の内容と曲想の関わりを感じ取る 「春」第1楽章	学習カード ワークシート
	7	3部合唱に親しむ 「学級合唱」	学習カード 実技テスト
2 学期	9	より質の高い合唱の追求	学習カード
	10	「学級合唱」	実技テスト
	11	曲想と音楽の要素との関わり 映画音楽より	学習カード 実技テスト
	12	歌唱力をつける 「学年合唱」	学習カード
3 学期	1	詩の内容と曲想 音楽を聴く力を高める	学習カード
	2	「魔王」	実技テスト
	3	表情豊かな表現の工夫 「学年合唱」	学習カード 実技テスト

3 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">・音楽を表現するための基礎的な技能を身につけている。・合唱においてパートの役割を認識し、全体の響きやバランスを考えて歌唱している。	ワークシート 実技テスト
思考力、 判断力、 表現力等	<ul style="list-style-type: none">・音や音楽の良さを感じ取り、それらを音楽活動の中で工夫ようとしている。・音楽の良さや美しさについて、音楽的要素を用いて説明できるか。また、楽曲構成について文章や言葉で表現できる。・音楽の歴史的・文化的背景と共に様々な音楽の固有の価値を理解し、主体的に音楽を聴き取っている。	学習カード 実技テスト ワークシート
学びに向かう 力、人間性等	<ul style="list-style-type: none">・音楽に親しみ、音楽活動を積極的に行っている。・意欲的に歌唱・演奏に取り組んだ。・集中して鑑賞しようとしている。	学習カード 授業の参加 状況 ワークシート

学習の指針（シラバス）

教科名	美術	実施学年	1年	週時間	前期 1.5 後期1
-----	----	------	----	-----	------------

1. 学習の目標

学習の目標	<p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。</p> <p>(2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。</p> <p>(3)楽しく美術の活動に取り組み造形活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	美術1(開隆堂出版) ポスターカラー クロッキー帳 絵画・デザイン素材 彫刻素材

2. 学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
1 学期	4	「生命力を感じて」	スケッチ	作品 クロッキー帳 アイデアスケッチ ストーリーボード 鑑賞ワークシート 制作中の姿勢 材料の工夫
	5	「もし君が〇〇なら」 「常中に妖怪発見？」	紙粘土、ポスターカラーなど	
	6	「文字の形」	レタリングの基本	
	7	「世界にひとつ自分の クロッキー帳」 「うつくしい！」	色や形、造形的な視点 色相環 配色	
2 学期	9	「これが世界に羽ばたく マイブランドマーク」	デザイン、色彩や形が与えるイメージ 拡散思考、収束思考	
	11	「造形実験」	材料との出会い、多様な表現	
3 学期	1	「光の世界 光をつか まえろ！」	写真の構図	
	2	「展覧会を伝えるポス ターをつくろう」	PowerPoint の使用	
	3	「思いを伝えるメッセー ジカード」	構図、文字と美の融合	

3. 評価について

(1)評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	<ul style="list-style-type: none">・自分独自のアイデアが作品に反映されているか・作品の仕上げが丁寧に美しくできているか・材料や道具の特性を理解し、適切な使用ができているか	<ul style="list-style-type: none">・作品の出来ばえ(形、色彩、仕上げの美しさ)・道具の使い方
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none">・課題を理解し、アイデアをまとめることができているか・作品のよさや制作意図を感じることができたか	<ul style="list-style-type: none">・アイデアスケッチ・ストーリーボード(制作意図)・道具・材料の工夫・鑑賞文の内容と量
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">・授業態度(制作に集中して取り組むことができているか)・制作に必要な自分の資料を用意することができているか・提出物(完成したものを)期限内に提出することができたか。	<ul style="list-style-type: none">・授業態度・提出物・自己評価シート

学習の指針（シラバス）

教科名	技術	実施学年	1年	週時間	2時間
-----	----	------	----	-----	-----

1. 学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術が生活の向上や産業の発展に果たしている役割について考えを深め、技術と環境・エネルギー・資源との関係について理解する。 ● 材料の特徴と利用法を知る事により製作品の機能と構造を考え、製作に必要な図を書ける。 ● 材料に適した加工法を知り、工具や機器を適切に使い、部品加工・組み立て・仕上げが出来るようになる。 ● 機器の基本的な仕組みを知り、その点検・保守と事故防止ができる。 ● 安全な作業を理解し、計画的に製作する。
使用教科書 副教材等	教科書：技術分野(開隆堂) 副教材：ハンドノート技術分野（正進社）

2. 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習のねらい	評価
4	【オリエンテーション】 ・授業の決まり ・技術科の役割	○学習目標や学習内容・方法を知る。 ○生活の中でどのように工業製品が利用されているか	ワーク 定期テスト
5	【木材の特徴】	考える。	
6	・木材の特徴 ・木材の種類と組織	○木材・金属・プラスチックの利点・欠点を考える。	
7	プログラミング		
9	文書作成ソフト 情報とコンピュータ	○プログラミング学習を通して、論理的思考力を高める。	scratch Microsoft Word 技能テスト 作業の振り返り
10	・木材の性質	○目的や条件に応じた木材の使われ方を知る。	
11	【木製品の設計】	○使用目的や条件に合う機能や構造を考える。	
12		○製図用具の用途及び名称を知り、等角図が描ける。	自己評価
1	【木製品の製作】	○けがきの方法を理解し、材料へけがきができる。	作品評価
2	・木取り（けがき）	○両刃のこぎりの名称や使用方法を知り、正確に部品を	
3	・切断 ・部品加工 ・組み立て ・仕上げ	切断する事が出来る。 ○切削工具・機械の使用法を知り、切断面を正確に切削加工出来る。	レポート
	・完成【まとめ】 ・評価と反省	○組み立て工具や材料の種類、接合方法を知り、組み立て順番を考えながら組み立てる事が出来る。 ○使用目的や条件にあった塗装を考え、丁寧に塗装する事が出来る。	

3. 評価について

観点	評価の観点及び内容	評価材料
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業での反省や感想など、振り返りを行えている。 ● 授業規律を守ることができる(忘れ物や提出物)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・ワーク ・レポート
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的や条件に応じて木工作業の手順を工夫している。 ● 決められた作業時間内に作品や作業がすすめ、振り返りを次に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・ワーク ・レポート
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ● 材料に適した加工法を知り、工具や工作機械を適切に使い、部品加工・組み立て・仕上げを正確にできる。 ● 工具、工作機械の基本的な仕組みを知り安全に作業ができる。 ● 材料の特徴と利用法を知り、ものづくりに関する基礎的な用語や操作方法を理解し、適切な解答を見つけ出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・技能テスト

学習の指針（シラバス）

教科名	家庭	実施学年	1年	週時間	2時間
-----	----	------	----	-----	-----

1、学習の目標

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的学習的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ・家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をより良くしようとすることができる。
使用教科書 副教材等	教科書：技術・家庭 家庭分野（開隆堂） 副教材：技術・家庭 ハンドノート家庭分野（正進社） 修繕の基礎練習セット（優良教材）、あづま袋（ISEC）

2、学習計画及び評価方法等（状況によって実習の時期を変更することがあります。）

	月	学 習 内 容	学習活動の流れ・ねらい	備 考	評 価
一 学 期	4	【オリエンテーション】 ・授業のきまり	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標や学習内容・方法を知る。 ・これまでの家庭生活や小学校での学習を振り返る。 		
	5	【衣生活の自立】 ・衣服のはたらき ・上手な衣服の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活の自立について考える。 ・衣服のはたらきを考え、目的に応じた服装を選ぶことができる。 		ハンドノート ワークシート 振り返りシート 小テスト 実習物 自己評価 期末テスト
	6	【日常着の手入れと保管】 ・布の繊維に応じた手入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・TPOに合わせて衣服を選ぶことができる。 衣服の手入れや補修の必要性を理解し、衣服材料に応じた方法を知る。 ・汚れに応じた手入れを工夫し、実践することができる。 		
7					
二 学 期	9	・補修や収納・保管 【生活を豊かにする物を作る】	<ul style="list-style-type: none"> ・玉結び、玉止め、なみ縫い、返し縫い、まつり縫いができる。 ・必要な用具類の名称と使い方を知る。 ・ミシン各部の名称や使い方を理解する。 	修繕の基礎 セット	ハンドノート ワークシート 小テスト 振り返りシート 実習物 自己評価 期末テスト
	10	・ミシンの使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のはしに合わせたサイズを考えて、あづま袋の製作ができる。 		
	11	・あづま袋の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの話聞き、進んで着付けに取り組むことができる。 ・着物の構成や利点がわかり、日本の伝統的な衣服である着物について理解する。 		
	12	【つなげよう和服の文化】 【持続可能な衣生活】			
三 学 期	1	【住生活の自立】 ・安全な住まいで安心な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解する。 		ハンドノート ワークシート 小テスト 実習物 期末テスト
	2		<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害への備えについて具体的な方法を工夫することができる。 ・安全で快適な室内環境について課題に取り組むことができる。 		
	3	【持続可能な住生活】 【まとめ】	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活・住生活の自立について考える。 		

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境について理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	☆作品の内容 ☆定期テスト ☆製作中の動き
思考・判断・表現	日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、様々な解決法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして問題を解決する力を身につけている。	☆授業内での課題 ・ワークシート及びハンドノート ・作品の内容 ・振り返りシート ☆授業中の発言、参加状況
主体的に学習に向かう態度	家族の一員として、生活をより良くしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。	・ワークシート及びハンドノート ・振り返りシート ☆授業中の発言、参加状況 ☆授業への取り組み（忘れ物、宿題などを含む）

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

学習の指針（シラバス）					
教科名	保健体育	実施学年	1年	週時間	3時間

1、学習の目標

学習の目標	<p>(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けさせる。</p> <p>(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を身に付けさせる。</p> <p>(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付けさせる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：中学校保健体育（大日本図書）</p> <p>副教材：ステップアップ中学体育（大修館書店）</p>

2、学習計画及び評価方法等

	月	学習内容	備考	評価
一学期	4	体づくり運動（男女） 集団行動（男女）	・グループ活動 ・グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・実技 ・記録 ・期末テスト
	5	マット運動（男子） 陸上競技（女子）		
	6	陸上競技（男子） マット運動（女子）		
	7	水泳（男女） ハンドボール（男女）	・グループ活動	
二学期	9	ダンス（男女）	・グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・実技 ・記録 ・期末テスト
	10	ソフトボール（男女） 柔道（女子）	・グループ活動	
	11	柔道（男子） バレーボール（男女）	・グループ活動	
	12	長距離走（男女）	・グループ活動	
三学期	1	サッカー（男子）	・グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・実技 ・記録 ・期末テスト
	2	バスケットボール（女子）	・グループ活動	
	3	サッカー（女子）	・グループ活動	
		バスケットボール（男子）	・グループ活動	

※実際の進行状況により、上記計画から変更になることがあります。

3、評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	<p>運動に関わる心身の動き、運動の行い方や作戦、体力測定の方法と結果の活用、運動や練習の原則及び生活における運動の取り入れ方や意義に関する基本的な知識を理解し活かしている。</p> <p>運動の課題や行い方、戦術をもとに運動を行うことができ、運動の特性に応じた技能やゲームの進め方を身につけている。</p>	<p>・期末テスト</p> <p>☆実技</p> <p>☆記録</p>
思考・判断・表現	<p>運動の特性に応じて、自己やグループの課題の解決を目指し、活動の仕方を考えたり工夫したりしている。また、その結果を適切に振り返り、次の活動に活かすことができる。</p>	<p>・ノート</p> <p>☆話し合い活動への取り組み</p>
主体的に学習に向かう態度	<p>自ら進んで運動の楽しさに触れ全力で運動しようとしている。また、運動の楽しさや喜びを仲間と共有できる。</p>	<p>☆授業への取り組み</p> <p>☆授業中の発言、参加状況</p> <p>・家庭学習の取り組み</p>

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。